



想いをこめて

各校の代表者
8人が発表

次代を担う子どもたちが、学校生活や家族、友たちなど、身近なテーマを題材に、自分の気持ちを素直に表現した「わたしの主張大会」。福智町青少年育成町民会議（田島靖会長）の主催により、12月16日に公民館金田分館で開かれました。この大会で町内全8校の代表者がはつらつとした態度と落ち着いた口調で訴え、その思いを参加者の心に響かせました。2回目の開催となる今回、会場での発表内容から、福智の子どもの考えや決意、希望に触れたいと思います。（各講評は徳久公博指導主事）

上野・市場・金田・弁城・伊方の5小学校と赤池・金田・方城の3中学校の代表者が豊かな表現力で主張。



「あいさつがボランティア活動になる」という岡崎くんの主張を聞いて、わたしも「なるほど」と強く感じました。人の心をやわらげ、明るい人間関係づくりにつながる「あいさつ」の大切さをよく伝えられていました。



【主な内容】「おはようございます。みなさんは朝、あいさつをしていますか。あいさつは、生活の中の身近なボランティアの一つです。そのことを知ったのは、5年生の総合的な学習の時間です。それまで、ボランティアというのは、何か特別なことをしなくてはならないと思っていました。ボランティアをしたことのないぼくにとって、毎日しているあいさつが、ボランティアの一つだと聞いてびっくりしたことを今でも覚えています。あいさつは、生活の中でなくてはならないことだと思います。みんなが朝あった人にあいさつをすれば「今日も一日がんばるぞ」という気持ちになれるのではないのでしょうか。あいさつは、誰にでもできる身近で大切なボランティアです。人が元気になるための薬です。お互いあいさつをし合い、一日を楽しく過ごせるようにしていきたいです。



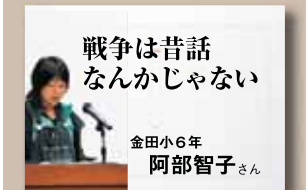
【主な内容】「ただいま」「おかえり。これがぼくの毎日の楽しみでした。学校から帰ると祖母がぼくを優しく迎えてくれます。しかし、今はその優しい祖母とも一緒に暮らすことができなくなってしまったのです。というのも、祖母が認知症という病気にかかってしまったからです。祖母は、小竹のグループホームに引っ越ししましたが、一年後に介護保険に認定されなかったため、出なければならなくなりました。12歳のぼくにははつきりとした将来の夢はまだありません。しかし、この認知症という不思議な病気をこの世からなくしたい。無くせないとしても、せつかくグループホームで落ち着いて生活している祖母のような人が、途中でホームを変わらなくてもいいような制度をつくりたい。そう思っています。「ただいま」「おかえり」今でも、玄関をあけるたびに、優しい祖母の声が聞こえてきそうです。



誰でもみんな年をとる... そのとき家族はどうするべきかということを考えてさせられる内容でした。家族のきずなの強さや今の社会に対する課題や大切なことを、桑木くんの目をおとて伝えられ大変心に響きました。



人が人を殺し合うこと、戦争の恐ろしさ、ばからしさ、そして命の大切さを本当に強く切実に訴えてくれました。これからも戦争が起こらない平和な社会になるよう、引き続き訴え続けてもらえたらありがたいと思います。



【主な内容】みなさんは62年前の日本でおこっていたことを知っていますか。まだ未来があった子どもたち、人生をもう少し楽しみたかったであろうお年寄りが罪もないのに亡くなっていったのです。平気で人と人が殺し合うそんな国が日本だったということをおなさんは知っていますか。修学旅行で出会った下平作江さんという被爆者の体験談から、わたしは考えました。今の日本は平和です。ですが、この平和もいつなくなるのかわかりません。だから、62年前のことを深く考え、小さな所から直していくべきなのです。そして、わたしたちが伝え続けるべきなのです。戦争という大きな出来事は、これから何10年、何100年たっても昔話なんかじゃありません。だから、二度と同じ過ちを繰り返さないためにも、戦争を軽く考えたいいけないのです。みんなで平和な日本を守り続けていきましょう。



【主な内容】「勉強がんばるかしい子、丈夫な体をもつたくましい子、心やさしい子」これがわたしたちが目指している弁城っ子の姿です。わたしは、小学生最後の運動会をきっかけに、それまでの自分と比べると、ずいぶん成長したように思います。体育の授業で一生懸命に勉強をがんばる子、運動を通して心も体も強くなったたくましい子、みんなでお互いに支え合って協力する心を持つ心やさしい子になるために練習に取り組みました。小学校最後の運動会を悔いの無いようにと全力を尽くし、最上級生としての責任を果たすことができたことがわたしとしての一番の成長だったと思います。100%の力を出せたことで、みんなで目指す弁城っ子に近づけたと思います。卒業までの残りの期間、より弁城っ子に近づけるよう、また弁城っ子になれるようにもっともっとがんばりたいです。



すばらしい弁城小学校づくりにがんばっている様子がうまく紹介できました。あなたたちの活動が他学年にも伝えられ、この活動が引き継がれ、そして弁城小学校の伝統となってもっと学校がよくなることを祈っています。